

平成25年度 第2回朝日地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成25年7月23日（火）13:30～14:55
2. 開催場所 朝日支所 2階 第1会議室
3. 出席委員 島田好、忠隆司、遠山榮作、本間太一、中山好栄、大滝重秋、
小池徹、佐藤利子
4. 欠席委員 本間進二、鈴木芳太郎、大滝由博、大場美子
5. 出席職員 地域振興課：本間支所長、岩沢課長補佐、五十嵐副参事、玉木係長
(事務局) 中山主査、島田主査
6. 会議次第 別紙のとおり
7. 会議経過 別紙のとおり

平成25年度 第2回 朝日地区地域審議会 会議次第

日 時 平成25年7月23日 (火)

午後1時30分～

場 所 朝日支所 2階 第1会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 朝日地区地域活性化推進事業について

4 その他

5 閉 会

会議経過

1. 開会

事務局； 定刻になりましたので、ただ今から平成25年度第2回朝日地区地域審議会を開催いたします。本日、本間進二委員、鈴木芳太郎委員、大滝由博委員、大場美子委員から欠席の連絡を受けております。

2. あいさつ

会長； 第2回朝日地区地域審議会にご出席くださり誠にありがとうございます。本日は何人かの方が欠席しておりますが、いろいろと忙しい時期であります。昨年に比べると7月今日まで晴れの日が5日しかありません。うっとうしい日が続いております。さて、本日は朝日地区地域活性化推進事業につきまして、みなさんからたくさんの意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

3. 議事

(1) 朝日地区地域活性化推進事業について

会長； 議事に入らせていただきます。朝日地区地域活性化推進事業について、事務局から説明をお願いします。

事務局； それでは、資料に沿って説明させていただきます。

【朝日地区地域活性化推進事業について説明】

会長； ただ今、事務局から三つの事業案について説明がありましたが、ご意見やご質問をお願いします。みなさんから「もっとこうしたほうがいい」「別な内容でやったほうがいい」といったご意見をどんどん出していただきたいと思ひます。

委員； 私のまわりにも何人も独身の方がいます。その人たちには「子孫を残さなければならぬよ」と冗談ではなく本気で言っています。ぜひ行政には強く進めてほしいと思ひます。

会長； 以前も話しましたが、商工会でもいろいろやってきましたがなかなかまとまりませんでした。40代、50代の独身の方にも希望のようなものを持たせることも大事だと思ひます。最後にありました国際結婚にもつながってくると思ひますが、外国の人まで広げて考える必要があると思ひます。以前この朝日地区では国際結婚に対して否定的な雰囲気があり、特に親御さんにそういう考えが強かったと思ひます。しかしながら今ではそういうことを言っている場合ではなくなっています。子どもが生まれて子どもの声を聞くことがわれわれの務めだろうと思ひます。何としても一組でも二組でもまとめたいと私なりに考えています。

委員； 20年くらい前に参加した経験から言わせていただくと、集まって「どうぞ話をしてください」と言うだけでは盛り上がりません。誰か仲立ちをしてくれる人がいると盛り上がると思うのですが、そういう方がいないと2時間後には名刺交換して「さようなら」で終わってしまうので、その点を考えていただきたい

いと思います。

会 長； 行政が中に入ったイベントなどで花嫁花婿をもらったと言いたくないし、みなさん遠慮するというか、毛嫌いするというか、そういう考えがあったと思います。そっと合わせるような仲介をしてくれる方がいなくなりました。

委 員； 工場とか企業が多いところは、男性が多くいる職場と女性が多くいる職場でコンパをして知り合うケースが多々ありますが、この地域の企業、会社にあたったことはありますか。

事 務 局； ないと思います。

委 員； 朝日地区にはそういった企業は少ないですが、村上市全体に広げてやることも考えられると思います。坪根の工業団地にはジャムコや旧東京シャツなど女性が多くいる職場もあります。ジャムコにも女性社員は多くいると思いますが、他にもお菓子会社にも多くいますし、そういうところに声掛けすれば年頃の方が集まるのではないかと思いますがいかがですか。

事 務 局； 山北の嫁婿対策で行っている交流事業で、はじめは地元の男性と外部の女性にお見合い形式で会っていただくことを何年来行ってきましたが、地元の男性に積極性がなく壁に張り付いて話もしないということで、定住や結婚に結び付けるには、ただ会わせても効果がないので、週末百姓やってみ隊ということで、一つの目標をもって汗を流したり交流をする中で、そういう成果を上げる取り組みを行ってきました。配偶者対策もありますが、退職された方が移住して来たり定住につながる成果を上げています。

会 長； 百姓やってみ隊を通じて結婚した方もありますよね。

事 務 局； 何組か成果が上がっております。

委 員； 1回だけだとそこで切れてしまいますが、何回か同じメンバーが集まると情が出てくるので、1回で結び付けてしまう発想ではなく、年に何回か継続して集まれるようにすると愛情が湧き、先ほどの話にあったように同じ目的で何かをすると話も段々できるようになるので、1回きりのイベントではないほうが良いと思います。

委 員； 栗島汽船などを利用したり十数年イベントをやらせていただきました。その当時はきっかけづくりということで嫁婿対策を打ち出さずやってきましたが、実際には何組かまとまって良かったと思っています。あまり行政が表に出ず、司会者も民間の方々をお願いしたりテレビ局のアナウンサーをお願いしたこともありました。この案の中で参加者が概ね男女各10人から20人となっていますが、広域のときは男女50人くらいずつの100人程で何年か行いました。先ほど委員から話があったように、何回か参加して顔見知りになり結婚された方もいらっしゃると思いますので、何回か行うことも大事ですし、最初は話題作りで出やすい雰囲気で行ったほうが良いと思います。個人的にはアルコールを提供しないということは大嫌いです。飲んでガヤガヤやったほうが良いと思っています。

会 長； 嫁婿対策だとわかっているけども目的を持って集まるというのは、嫌な気持ちにならず自然に集まってくるものだと思います。百姓やってみ隊のように何かイベントを作って、そこに参加していただくということが大事だろうと思います。

また委員が言われたようにアルコールは提供せずにお茶菓子だけでは来ないのではないか。参加費をもらってみどりの里でも派手にやりました。人は集まるがダメでした。恋人同士で参加する人もいました。結局飲ませて食べさせて、その後どうなったかはチェックもしなかったのでわかりません。参加した知り合いの青年に「あの子のところに行って来い」とはっぱをかけたが、結局行けず未だに独身のままです。個人の努力も大事だし、まわりの人がふれあうチャンスを作ってやることも大事なことだろうと思います。最近、私の集落でも続けて40歳過ぎの二組の夫婦が誕生しましたが、誰かがいい人がいるからと紹介したほうがいいのか、本人なのか難しいと思います

委員； 以前、会長と一緒に企画に参加しましたが、その時に知り合って結婚した人がそこで知り合ったと言いたくないそうです。また独身男性に対して心構えを講演してもらったことがありました。講師の話では「女性は子どもの時からきれいになるために努力している」という話や、男性には「積極的になれ」というような講演までしてもらいましたが、先程から話が出ているように、やっぱり結婚しない人は引っ込み思案だと思います。私は8回も断られましたが、何回もアタックしてようやく結婚することができました。それくらい積極的になることと、また大勢集めなければまとまらないのではないかと思います。委員が言われたように回数を重ねることも必要ではないかと思います。

委員； スポーツを通して結びつけるケースもあると聞いていますので、そういうイベントもいいのではないかと思います。私の聞いた話では、スーパーの女性と男性の多い職場の人たちがバドミントンを通して交流を図り、その後飲み会等を行ったそうですが、バドミントンをしている時からお互いに目を付けた人同士が、隣に座って盛り上がり一緒になったケースがあったと聞いています。朝日地区には企業が少ないですが、例えばスーパーに行っている女性も多いわけですから、スポーツを通じたイベントからのスタートも考えられると思います。

会長； 委員が言われたように職場結婚のチャンスがないところもあります。女性も男性もたくさんいる職場だと飲み会や知り合うチャンスもあると思います。異性のいない職場同士についてですが、会社の重役に紹介してもらったり、出会いの場を作ることが必要だと思います。

会長； 地域の特産品を広く知ってもらうイベントの実施についてはいかがですか。事務局の考え方としては既存のものを利用して、それを売り込むというものですか。

事務局； 何を売り込むかというものは特に考えていませんが、既存のものでも新しいものでもどちらでもかまいません。

事務局； 資料の備考にある逸品発掘交流会について説明させていただきますと、みどりの里の体験交流センターやふれあいセンターで行いました。広く参加者募集の案内をし、数テーブルごとに1、2品の商品に対する生産者からの説明を受け、一般の方や企業の方が意見を出し合い、より良い商品にしていこうというものです。またネスパスなど企業の経営者の方々に来てもらいアドバイスをい

ただいております。逸品発掘交流会を通じて商品化されたものもありますが、商品開発につきましたはかなり骨が折れるものだと思います。消費者のニーズにあったものにしないと売れないので本当に難しいなと感じました。都岐沙羅パートナーズセンターに運営を委託しまして、いろいろな意見が出たと思います。鮭の加工品や神林のハム、まんまスティックは商品になって出回っています。こちらは何社も作っていましたが、村上地域振興局に入っただき規格を統一しました。このようにこの地域から商品が出れば活気が出るものと考えておりますので、事業案にある企画や考えられる企画が成功すればうれしいかぎりです。

会長； 地域活性化は少子高齢化を克服して、たくさん子どもたちがうるさいくらい騒ぐ地域にすることが一番でしょうし、経済的に活性化していかないと難しいと思います。政府も津々浦々まで活性化すると言っているので、これをチャンスとして、この地域でもこれを作れば売れるだろうと前向きにならなければならないと思います。

委員； 農協でふるさと市を作るということで進めております。場所は村上高校の前の空き地約1,400平方メートルを買収しまして、どのように建物を建てるか進めています。そこにはイベントができる広場も併設します。さまざまな直売所がありますが、農協のものは都市型直売所で広さはありませんが、売り場面積は50坪ほどになる予定です。先般、同規模の施設を見せてもらいましたが、その中で特に売り上げがあるのは加工品です。みどりの里の直売所にも加工品があると思いますが、こういう場所を活用して、それぞれの農家なりが目覚めてくるケースが多く出てくるのではないかと考えています。この直売所は来年の5月末から6月にオープンしたいと考えています。今は全農とどのような建物がいいのか相談しているところですが、全農はそういう経験がありますのでいろいろ相談しながら進めています。

会長； その直売所は常設の施設ですか。

委員； 常設です。

会長； だんだん名品ができてくる可能性もありますし、通年営業していると少しずつ違う商品が出てきますし、アンテナショップ的な施設になる可能性もあります。

委員； スーパーのインショップの売り上げが相当あります。ウオロクや原信に生産者の名前が入ったコーナーがありますが、そこでの売り上げが相当あります。農協にも直売所が病院の脇にありますが、そこはお昼に終わってしまいますので非常に不便であります。また瀬波温泉の魚市場のところにも季節的なものがありますし、岩船漁港にもありますが売上はよくありません。それらを踏まえまして村上高校の前に建てることになりました。イベント等も回数を重ねないと売り上げが伸びませんから、地域の方々の刺激になるような店にしたいと思っています。

委員； 事務局では具体的な産物は想定していないとの説明でしたが、事業名は地域の特産品を広く知ってもらおうイベントなのに、売り出すものが想定されていな

いとなるといかがなものかなと思います。

会 長； 広く知れ渡れば、出張販売をして来るということになると思いますが、まず朝日ブランドを確立することが先だと思います。

委 員； 朝日豚はどうなっていますか。生産していますか。

事務局； 生産されなくなっていく方向です。黄金豚などのブランドになっていくと思います。

会 長； 村上牛は完全にブランド化されています。高いですが。

事務局； 村上牛は生産量が少なく中央では売りにくいとか売れないそうで、新潟県にもって来るようです。新潟県内で売りさばく量しか出荷していないということです。市場に出たとき村上牛は高さの割に他のところと比べるとおいしさにどこまで差が出るのかなと思います。新潟で食べる場合は、村上牛はすごく知名度はありますが、他に行って村上牛の知名度がどれくらいあるのかというところかなりインパクトが弱い気がします。ただ国でも6次産業化を推し進めていますので、直接物を販売するよりもT P Pなどに対する対応になります。なるべく加工して農家の所得を少しでも増やす施策になっています。加工場の補助など用意されていますので、もしそういう方々がいればかなりの補助対象があるのではないかと思います。

会 長； 備考欄についてですが、特産品の開発などに対し市の補助制度があるということですが、朝日地区の人はあまり知らないようです。

委 員； 東京に新潟県の長岡や山古志など地域の方が商店街の一角に店を出すところがあります。そこにいろいろ持って行って売っています。朝日地区だけでなく、他の地区に行けば値段を結構高くしても都会のほうでは売れているようです。

委 員； みどりの里に行っても、売っているものが朝日地区特産のものが少ないような気がします。我々が住んでいる地域で「自慢のできる特産品は何ですか」と聞かれてもぱっと答えられるものは米しかないものですから、そういう特産品を市ではどれくらい把握していますか。私のほうでも中山間直接支払いのお金をもらっているので、相当の予算を用意して集落の方に呼びかけしました。漬物の上手な方がたくさんいるので、何とかやってもらえないかということで、真空包装する機械を買ったり場所まで準備しました。一人一人はできるのですが、まとめるとなるとリーダーになる人がおらず、直売所に出す程度しかできず、本格的な商品にできない状況です。専門家に指導を受ければいいのかもかもしれませんが、今の状態では難しい状況です。野菜の直売所だけではお金はそれなりにしか稼げないと思います。もっと大々的に量産するにはしっかりとした組織をつくる必要があると思います。

会 長； みどりの里でも差別化されてきて、例えば朝日から東京の人に物を贈る場合、新潟に売っているものではなく朝日のものをくださいと言われても、これだと言えるものがないと思います。お客がとてもシビアになってこの地域のものをくださいと言われるということは、地元のもの、朝日ブランドを好むのだと思います。

- 事務局； 朝日だけではありませんが、特産品と言えるものは、コシヒカリ、山菜、鮎、山もち、大海、どぶろく、山葡萄ワインなど山葡萄を生かしたもの、シルクフラワー、イワナ、ニジマス、深緑メロン、ハウス園芸のイチゴ姫、ダチョウなどがあると思います。拾い上げればもっとあるものと思います。直売所が朝日にもあり生鮮野菜を出していますが、神林の穂波の里ではゆりの会が加工品をかなり出しています。朝日よりも売り上げが6倍もあります。そういうことで6次産業化と言いますか、加工品にしなければ単価も安いですし売上額も伸びないと考えています。
- 会長； 朝日の直売所に行くとはほとんど個人個人の商品です。神林に行くとは女性が何人か集まって株式会社として積極的にやっています。販売もさることながら、製造からいろいろなアイデアを出して、木の根を加工して売っていますし、パンも焼いています。
- 委員； 新発田ではアスパラガスを育て上げ一大産地にした実績がありますが、岩室温泉の近くに酪農家がアイスクリームを販売する場所を作り、他にもいろいろな施設を建てているところがあります。酪農家だったので奥さんが始めたいのですが、目玉になる何かを発想することと、もう一つは朝日の特産品は何だろうと委員と話をしていたがわからないということでした。よその人の目から見て意見を聞く作業をしないと、この地域の特産は何か意見が出てこないで、このプロジェクトが根本から進まない気がします。
- 会長； 委員が言われるとおりでと思います。よそから見るととてもいいところですが、ここにいるといいものでも良さがわかりません。「そんなもの誰が食べるんだ」で終わってしまいます。モニター調査のようなものが必要だと思います。
- 委員； 三角ちまきはよそでも作っていますか。山もちはどうですか。山形に行くとは玉コンをよく食べるのですが、あんな風に手軽に食べられないかと思って質問しました。
- 委員； その場ですぐにできるというものではありませんが、さんさんまつりに提供したことがありました。
- 会長； 特産品については継続して審議したいと思いますので、最後の国際結婚された方との交流について、みなさんから意見をお願いします。
- 委員； 確認しますが、事務局案の3事業すべてやるのでしょうか。
- 会長； 一つでも全部でも、この3事業以外でもかまいませんし、後ほど採決したいと思います。
- 委員； この事業をやることに対して異論はありませんが、はたして何が残るのかなという気がします。話を聞くことはいいことだと思いますが、何かをつなげていかなければならないので、それをどう持っていくかが問題だと思います。確かに私の近所にも国際結婚している方がいますので、フォローアップしていくとなれば、ずっとしていかなければならないですし、一過性で終わるのであればどうかと思います。
- 委員； 実際どれくらい国際結婚した方が朝日地区にいらっしゃるのですか。
- 事務局； 手元にデータを持ち合わせていません。

- 会 長； 三つの事業についてみなさんからご意見をいただきましたが、この他にもご提案があればみなさんからお願いします。今年は10月と2月に地域審議会を予定していますので、それまでに具体的に事業内容と予算も含めて決定していただきたいとのことです。
- 委 員； 今日どこまで決めるのですか。
- 事 務 局； 今日どこまで決めるというものはありませんが、次回はある程度具体的に決めていただきたいと思います。
- 会 長； 今日の審議で一番活発な意見が出たのは花嫁花婿対策でしたので、これ一つでもかまわないとのことですがいかがですか。
- 委 員； 説明であったとおり村上市全体でも考えているとのことですが、それとの兼ね合いはどうなりますか。
- 事 務 局； 人口減少問題対策の中での嫁婿対策ということになりますが、例えばテレビ局の企画を入れた場合、おもしろおかしくその人がどんなことをしているか、その人が地域の中でどのような役割をしているかという物語が大事になります。また参加する女性は全国から田舎に行って暮らしたいという人を連れて来るのだと思います。村上市で企画したものをテレビ局で査定して、視聴率が取れそうだとすれば300万円で採用してくれることになりすし、おもしろい企画をしなければテレビ局もそっぽを向いて来ないそうです。
- 会 長； 村上市だけでなくよそも企画してテレビ局にもっていくわけですか。
- 事 務 局； テレビで放送されたものはテレビ局で企画したものでなく、地元の方がいろいろ準備してテレビ局にお願いしているようです。
- 会 長； 女性は何人参加してもかまわないのですか。
- 事 務 局； 女性は別に募集をしたいと思います。ただ辺りな地で嫁さんが来ないようなところを全国的におもしろおかしく集めると女性が参加してくるようです。
- 会 長； 市でやるとなると地域審議会でもダメですね。
- 事 務 局； 市議会でもテレビ放送のあった南砺市に視察に行きました。
- 委 員； 資料では対象が朝日地区に暮らす独身の方及び朝日地区の人の配偶者になれる独身の方とありますが、朝日地区の配偶者になれる人のターゲットはどこですか。
- 事 務 局； 特にどこというのではありません。全国どこからでも来ていただければと思います。
- 委 員； そうすると単純にプラス1人という考えですか。
- 事 務 局； 地区内でもかまわないと思います。流出を防ぐ意味でも地区内でもかまいません。
- 委 員； 村上市全体のことを考えずに、朝日独自のものをやったほうがおもしろいかもかもしれません。それで市が考えているものに波及効果をもたらしていったほうがいいと思います。
- 委 員； 企画はどこに委託する考えですか。
- 事 務 局； まだどこというのではありません。当事者の中から募集してその人たちに企画を考えてもらうのも一つの方法だと思います。

- 委員； 朝日に嫁婿で来た方に実行委員になってもらうのもいいと思います。
- 委員； 先ほど委員が言われましたが、あまりお見合いの看板を表に出すよりオブラートに包んだ中で進めたほうがいいのではないのでしょうか。入り口がお見合いパーティーだと恥ずかしい気がします。
- 委員； まちづくりの代表者も来ていますが、そういう事業などはありますか。
- 委員； どういうふうにするかまだ詰めていない部分もありますが、深刻な問題であるということでまちづくり協議会でもその問題に取り組んでいるところです。方向性はまだこれからというところですが、あくまでも高根地域ですので市の事業の参考になるところは参考にしたいと思います。市の事業とタイアップするなど今日の話聞きながら考えていきたいと思います。
- 会長； 市の事業でやるのであればダメかなと思いましたが、今ほど委員が前向きな意見を言われたので嫁婿対策に絞って、少子化を解決させるには結婚してもらうことが大事なので、少子化対策と嫁婿対策を併せて具体化させたいと思います。
- 委員； 晩婚になってしまった原因は何ですか。特に男性が晩婚化しているように感じます。早い人は早いですが、22、23歳で結婚している人もいますし、逆にそれ以外の方は年代が上がっていると感じています。われわれの時代は跡取りであれば結婚しなければならないという考え方で嫁を探したこともありましたが、何回振られてもめげずに行った記憶があります。行政として晩婚化の理由は何だと思えますか。
- 事務局； 積極性がないのではないのでしょうか。山北地区も委員が言われたように男性に講習会をしたり、女性との接し方などやってもダメだったそうです。
- 委員； 村上市で婚活企画をやるのはおもしろくていいと思います。私もああいう番組は好きですし放送されれば見っていますが、独身男性を企画者側がまとめ役をしている気がします。自分たちのプロフィールを先に女性たちに渡して、おもしろおかしく、また感動するところもありテレビ放映されたほうがいいのかなと思います。
- 事務局； テレビの企画は、積極的な男性でそこに住んでいますが、女性がへき地で来ないところの方々です。朝日のような条件の中で積極性がなくて結婚しないの方々とは違うと思います。テレビでも自分のすべてをぶつけてプロポーズできるような本当に結婚したいと思っている人なのですが、女性と出会う機会がないとか、地元の人是不便でここに住みたくないと思っている人が多いとか、それで都会から田舎に憧れた人たちが来ると結びつく感じなので、こういう平場の中で結婚できないのとは違うと思います。嫁不足の中の企画だと思います。
- 委員； 最近は男性よりも女性のほうが積極的になっているように思います。テレビを見ていると結婚したいという思いをもって参加されている女性が多い感じがします。私の住んでいる高根でも毎年大勢の大学生が来ます。それを見ていると男性はすごく優しいです。おとなしいです。女性は積極的でそこでカップルができるのは、女性のほうからアプローチして好きな男性と一緒にいるケースが多いです。全く逆のような感じで、6年くらい私のところに来て付き合いの

ある女性が、青森の農家に行ったらそこで働いている従業員の男性を好きになり、大学院を卒業して青森の県庁に勤めまして、その男性と将来一緒になるということでしょうちゅう会っているそうです。はじめはその男性は自分のことが好きだと全くわからず、周りの人はみんなわかるのですが、彼はそれくらい鈍感な男だったそうです。また今年も彼氏を連れて私のところに紹介しに来てくれました女性がありますが、それもやはり銀行員になって勤めたばかりなのに、女性から男性に告白して連れてきました。我々のときは女性を好きで一緒になりたいという熱意がありましたが、結婚しないのはそういう熱意や努力がないからだと思います。これから企画するにしても女性から告白するような工夫をしたほうがいいと思います。

会 長； 高根で交流している男性はおとなしいですか。

委 員； 男性はおとなしいです。私みたいなおじさんが集まって大学生と飲んでいますが、若い男たちは隅に集まって飲んでいます。フロンティアの役員にも「あなたたちだけ楽しまず、若い人をくっつける努力をしてくれ」と言っている状況です。

会 長； みなさんの意見を集約すると少子化対策、花嫁花婿対策に対する意見が多かったので、この配偶者確保対策事業を採用して今後2回集中的に話し合いをして、作業部会のようなものを作って具体的にどうしたらいいのか話し合ったらいいかなと思います。事務局それでいいですか。

事 務 局； 一つに絞っていただければ今後の話し合いもスムーズにいくと思います。配偶者確保対策について、いくつかの案を作りますので次回審議していただきたいと思います。また委員のみなさまにも一つ二つ具体案を考えてきていただきたいと思います。

4. その他

会 長； 事務局から「その他」について何かありますでしょうか。

事 務 局； 次回の日程について10月20日頃にお問い合わせしたいと思いますので、会長と日程調整しまして案内いたします。

副 会 長； 今日は大変ご苦労さまでした。朝日地区の活性化推進事業につきましては一つに絞られたということで、次回までに委員にも宿題が預けられたようですので、次回から一本に絞って朝日地区のためにいい事業を計画していきたいと考えています。今日は大変ご苦労さまでした。

5. 閉会 (14:55)